



27. 沿 岸 視 察 章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊 スカウト氏名： _____

	考 査 細 目	考 査 方 法	合 格 年 月 日	認 印
(1)	水路図誌（海図と水路書誌）の概要が読めること。	口述または記述		
(2)	居住地を中心とする（あるいは任意に選んだ）沿岸6kmにわたり、水路図誌を参考に、または土地の人々の協力を得て、次の事項を調べ、略図を添えて、簡単な報告書を提出すること。 ア 海岸線の大体の状況 イ 5ヒロ（約9.15m）以内の浅瀬線、岩礁（水深2m以下の暗岩および洗岩など）の所在 ウ 潮流の方向、干満の差 エ 舟艇の安全な接岸点および避難場所 オ 灯台の位置、名称、灯質、灯色、周期、光達距離、および霧信号の種類 カ 浮標、灯浮標の種類、形、塗色及び設置位置と目的 キ 無線局の種別、位置、名称、電波の種類と周波数 ク 水難救済所の所在地、電話番号及び緊急通報の要領	報告書の提出		
(3)	航行中の船舶及び水泳者などに潮流、岩礁、浅瀬の危険を通知する方法を知ること。	口述または記述		
(4)	1時間沿岸を監視し、航行する船舶の種類、数量、航向、時間、旗旗及び当時の潮汐、風向などを記録し、報告すること。	報告書の提出		
(5)	暴風警報、気象通報の標示を認識できること。	口述または記述		
(6)	国際船舶救難信号について常識を有すること。	口述または記述		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 _____ 印